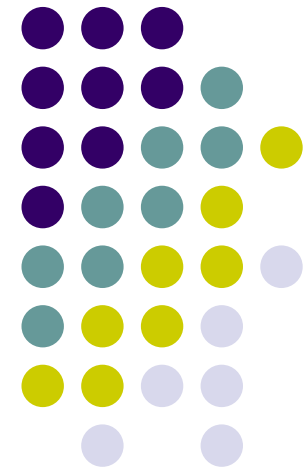


平成27年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所

JASDAQ(スタンダード):3953





目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所 : 会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、消費税の引上げに伴う駆け込み需要の反動減がありましたが、アベノミクスを背景とした政府による経済政策や日銀による金融緩和により穏やかな回復基調が続きました。また、企業収益が改善する中で設備投資は回復基調にあり、個人消費も底固く推移しています。然しながら新興国に見られます様に経済にかげりがでつつあることと欧州の債務問題など依然として不透明な状況で推移しました。
- 当業界におきましては、平成27年度全国段ボール生産量は前期比98.8%となりました。当社の主原料であります原紙価格の値上げがあり、また段ボール製品価格につきましては、軟調に推移しました。
- このような状況下において、当社は前事業年度にコルゲート部門を中心に大幅な設備投資を行いました。その効果が当事業年度に表れ、生産性向上及びロスの削減が顕著に見られ、また外部シート販売に力をいれたことにより、業績の概要は次のとおりになりました。
- 生産量につきましては、段ボールシート63百万m²(前期比10.8%増)、段ボールケース39百万m²(前期比2.7%増)となりました。
- 売上高は5,028百万円(前期比1.9%増)となりました。利益面におきましては、原紙価格の値上げがあったことと、段ボール製品価格が軟調に推移したことにより、経常利益267百万円(前期比37.9%減)となり、当期純利益145百万円(前期比45.9%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。



業績概要①

売上高:前期比1.9%増 経常利益:前期比37.9%減 当期純利益:前期比45.9%減

(単位:百万円)

	当期 (平成27年3月期)	前期 (平成26年3月期)	前期比率
売上高	5,028	4,935	1.9%
営業利益	258	413	-37.4%
経常利益	267	431	-37.9%
当期純利益	145	269	-45.9%
1株当たり当期純利益金額(円)	30.33	56.06	



業績概要②

総資産の主な要因は、原材料及び貯蔵品が減少したことによるものであります。（自己資本比率66.7%）

（単位：千円）

資産の部	当期末 (平成27年3月末)	前期末 (平成26年3月末)
流動資産	4,250,855	4,344,821
現金及び預金	2,734,686	2,696,517
受取手形	497,094	472,259
売掛金	727,672	738,095
たな卸資産	241,601	332,170
その他流動資産	49,801	105,777
固定資産	2,843,477	2,852,127
有形固定資産	2,493,872	2,608,322
無形固定資産	16,551	16,219
投資その他の資産	333,054	227,584
資産合計	7,094,332	7,196,948

（単位：千円）

負債・純資産の部	当期末 (平成27年3月末)	前期末 (平成26年3月末)
流動負債	1,546,813	1,706,494
支払手形	971,419	944,784
買掛金	224,887	130,495
未払法人税等	12,120	103,103
その他の流動負債	338,386	528,111
固定負債	814,573	866,569
退職給付引当金	173,026	172,847
役員退職慰労引当金	381,140	371,058
その他	260,405	322,663
負債合計	2,361,386	2,573,063
純資産合計	4,732,946	4,623,885
負債・純資産合計	7,094,332	7,196,948



業績概要③

(単位:千円)

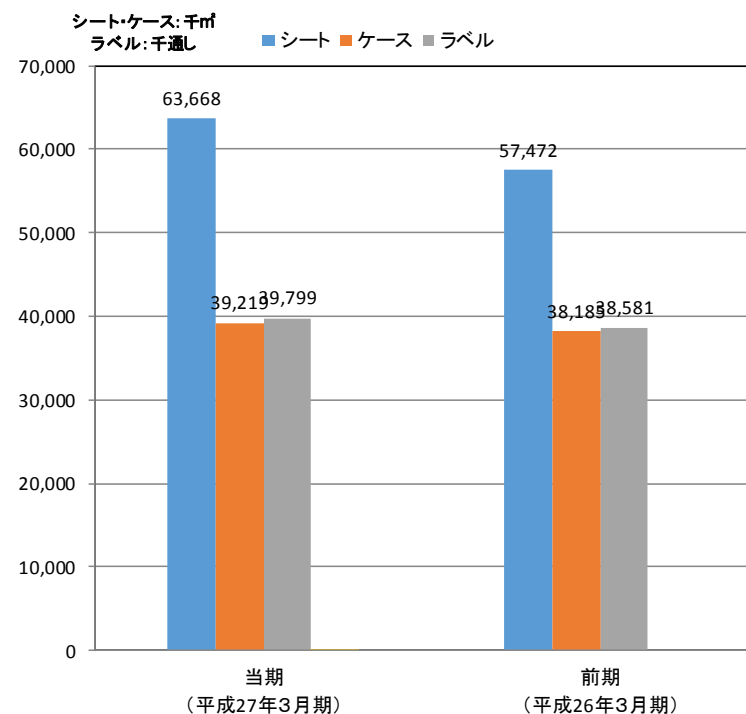
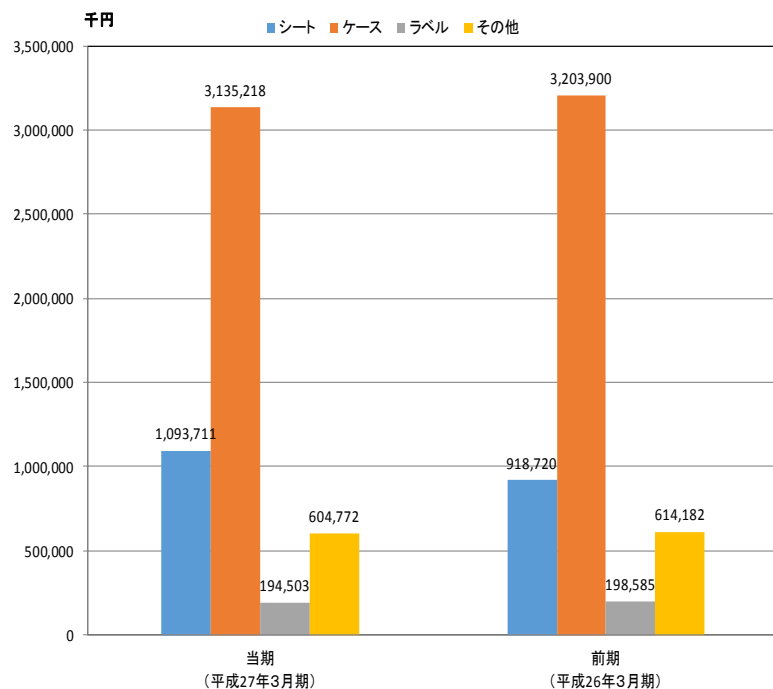
	当期 (平成27年3月期)	前期 (平成26年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	614,904	340,180
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 479,015	▲ 242,505
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 97,727	▲ 65,956
増減額(減少:▲)	38,162	31,718
現金及び現金同等物の 期首残高	2,667,283	2,635,564
現金及び現金同等物の 期末残高	2,705,445	2,667,283



品種別売上高及び生産実績

シートは売上増加となり、ケース・ラベル・その他は売上減少となりました。

シート・ケース・ラベルともに生産増加となりました。





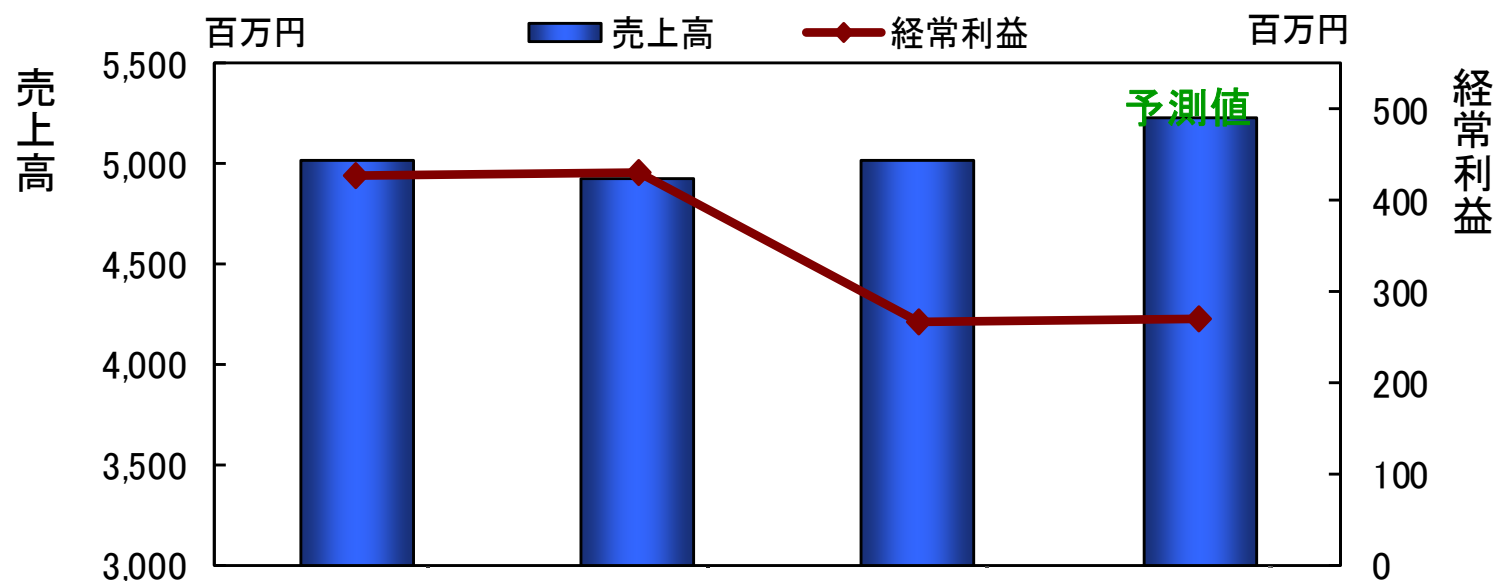
今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、政府による経済政策や日銀による金融緩和が引き続き行われると思われ、景気も回復を続けるものと期待されています。しかし、米国の景気減速や欧州の債務問題等が、日本経済への影響も懸念され不透明な状況で推移するものと思われまます。
- 当社の平成28年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,231百万円(前期比4.1%増)、営業利益271百万円(同4.8%増)、経常利益269百万円(同0.7%増)及び当期純利益159百万円(同9.0%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。



売上高および経常利益の見通し

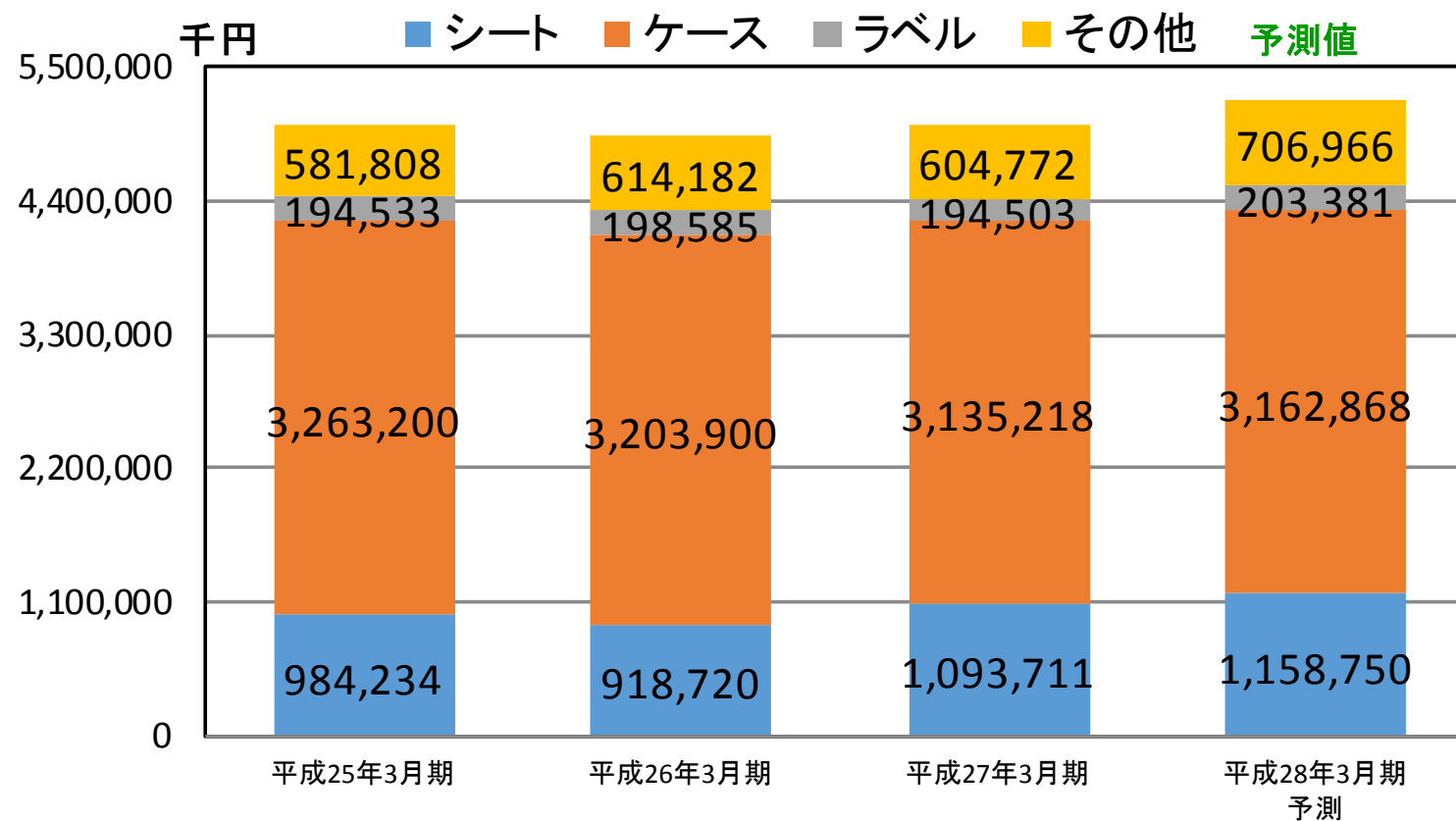
※売上高5,231百万円(前期比4.1%増)、営業利益271百万円(同4.8%増)、経常利益269百万円(同0.7%増)及び当期純利益159百万円(同9.0%増)を計画しております。



	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期 予測
売上高	5,023	4,935	5,028	5,231
経常利益	429	431	267	269



品種別売上高の見通し





免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。